

東金のうつりかわり

1. 明治元年（一八六八）の頃の東金

江戸時代が終わり、明治時代が始まったばかりの頃の東金町は、「新宿」「岩崎」「上宿」「谷」の四地区から構成されていました。

「東金」という地名は、十五世紀の中頃には使われていたことが、古い史料などから確認できますが、実際にいつからそう呼ばれたかは、よくわかっていません。

「東鐘」「鴛ヶ根（鴛ヶ嶺）」とも書いたようです。

他にも、大永年間（一五二一〜二八）に、酒井氏が東金城を居城としてから東金町と称したとする説や、慶長十九年（一六一四）に、徳川家康の鷹狩のための東金御殿が造営されてから、東金町と称したとする説などが言われています。

古くは、「東金」という呼び名とともに「岡山」「辺田方」ともいわれていたようです。

明治の初め頃は、現在の東金市の市域は、山辺郡一町五十六村と武射郡一村に分かれていました。（詳しくは、本誌資料集の「①東金の成り立ち」を見てください。

2. 明治二十二年（一八八九）の合併——一町七村へ——

明治維新によって、日本の社会は大きく変わりました。

現在の千葉県は、宮谷県、木更津県さらに大網藩、柴山藩、松尾藩などに分かれ

ましたが、明治六年（一八七三）に合併されて千葉県となりました。

また、明治二十二年（一八八九）には、国や千葉県の指導によって町村合併が行われ、東金町をとりまいていた七つの村（田間・堀上・

川場・押堀・北之幸谷・

台方・大豆谷）は、合併

して「東金町」となった

のです。

この東金町と同じ時期

に、公平・源・丘山・

大和・福岡・正気・豊成

村もそれぞれ合併し、現

在の東金市の市域は、一

町七村となったのです。

明治22年（1889）東金町及び四隣町村
（数字は町村面積）



明治22年（1889）合併後の町村

町村名	人口	戸数	総面積	合併した村
東金町	7,549人	1,396戸	12.9km ²	1町7村
公平村	2,948	607	12.2	5村
源村	1,541	311	11.5	9村
丘山村	2,300	544	18.4	5村
大和村	2,764	523	7.5	5村
福岡村	3,475	572	11.3	15村
正気村	2,385	474	8.0	9村
豊成村	3,488	643	11.3	14村

資料集・東金の成り立ち
139ページ

合併…二つ以上のものを合
わせて一つにすること
明治維新…江戸幕府がたお
れ、天皇を中心とした国
ができたこと

3. 昭和二十八年（一九五三）の合併―大きな東金町できる―

明治二十二年（一八八九）の町村合併以降は、東金付近には、これといった町村の統合、合併というものはありませんでした。

明治三十年（一八九七）の郡制の改革により、山辺と武射の二郡を一つにして、

統合…いくつかのものをまとめ合わせること
改革…きまりややり方を良
いほうになおすこと

山武郡に変わりましたが、これ

は山辺の「山」と武射の「武」

をあわせたものなので、「サン

ム」・「サンブ」という二通りの

の読み方が許容されています。

許容…許すこと

昭和二十年（一九四五）の

敗戦を境として、日本はアメリカ

カの占領政策によって、いろいろ

な制度に改革が加えられまし

たが、その一つに町村合併につ

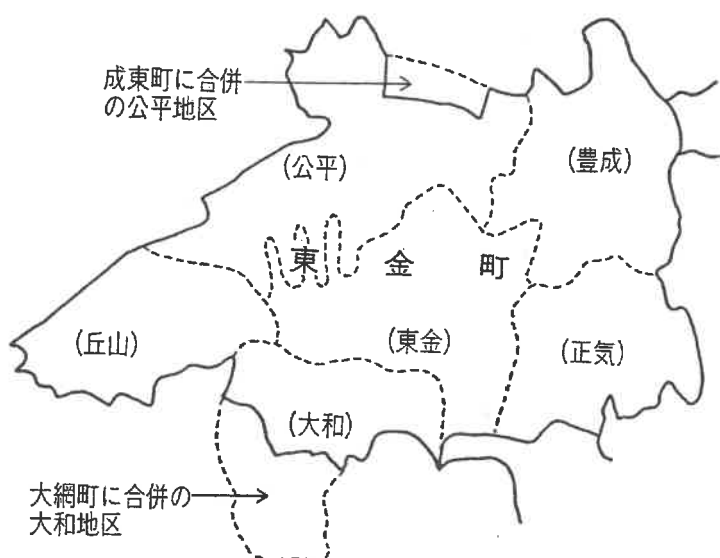
いての法律がありました。

東金町は、他の五村（公平・

丘山・大和・正気・豊成）と

昭和28年（1953）4月1日の東金町

（ ）は合併町村名



協議した結果、昭和二十八年（一九五三）四月一日に一町五村が合併しました。

明治初年の東金と較べ、人口において九・九倍、戸数一〇・八倍、面積にして二十九・三倍であり、明治二十二年の合併時の東金と較べても、人口が三・九倍に、戸数は三・九倍、面積は五・四倍と変ったのです。

まさに、大東金町の誕生でした。

人 口	明治初年	□
	明治22年	□□
	昭和28年	□□□□□
戸 数	明治初年	□
	明治22年	□□
	昭和28年	□□□□□
面 積	明治初年	□
	明治22年	□□
	昭和28年	□□□□□□□

町村名		人口	戸数	面積
新東金町		29,778人	5,458戸	69.7km ²
内 訳	東金町	13,141	2,533	15.0
	公平村	3,752	666	14.1
	丘山村	2,584	489	11.6
	大和村	1,911	330	5.6
	正気村	3,468	590	9.6
	豊成村	4,922	850	13.8

協議…たくさんの人々が集って、相談すること

4. 昭和二十九年（一九五四）の合併―東金市誕生する―

一町五村の合併によって、東金町は規模が大きくなって、新しい町建設にむかって動き始めました。しかし、一方では市制をしいて県と直接に結びつく東金市にした方がよいという意見も強くなって来ました。

しかし、町が市になるためには、

1. 人口が五万人以上であること。
2. 市街地形成の区域内に全戸数の六割以上が住んでいること。
3. 商工業その他都市的な仕事に従事する者、及びその者と同一世帯に属する者の数が人口の六割以上であること。
4. 都市的施設など条例で定める要件をそなえていること。

などの条件がありました。

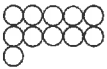
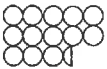
こうした条件のうち、1と3を満たしていない町村が多かったために、国会でも審議がされていきました。

昭和二十九年（一九五四）この条件が緩和され、一町五村に源・福岡村の二村を加えて、東金市が誕生したのです。

町村合併等を行う上では、様々な意見の衝突があり、分村してしまったところもありました。

審議……くわしく事の可否を
論議・検討すること
緩和……きびしいものをゆる
めて、やわらげること

東 金 の 変 化

時 代	面 積	戸 数	人 口
明治22年(1889) 2月28日以前 (小村時代) (22.2.28現在)	 240.24町歩	 503戸	 2998人
明治22年(1889) 3月1日以降 昭和28年(1953) 3月31日まで (東金町時代) (22.3.1現在)	 1305.22町歩	 1369戸	 7549人
昭和28年(1953) 4月1日 昭和29年(1954) 3月31日 (大東金町時代) (28.4.1現在)	 6970町歩 (69.7km ²)	 5458戸	 29778人
昭和29年(1954) 4月1日 (東金市時代) (29.4.1現在)	 8723町歩 (87.23km ²)	 6724戸	 37627人

参考までに、分村した地域をあげると次のようになります。

①源村 (植草・しもふだ・あめつぼ・むしよう) ↓山武町へ

②公平村 (姫島) ↓成東町へ

③大和村 (山口の一部・養安寺・小西) ↓大網白里町へ

④福岡村 (桂山・北吉田・九十根・長国・下ヶ傍示) ↓大網白里町へ

これらの地域は、明治二十二年の合併以前は独立した村でした。

ともあれ、東金市はこうして県下十三番目の市として誕生し、現在に至っているのです。

年月日	面積	戸数	人口
1954. 4. 1	87. 23km ²	6, 724戸	37, 627人
2002. 4. 1	89. 34km ²	20, 923世帯	59, 495人